

# 地域との共生



## 「中期経営計画2017」振り返り

地域の皆様と連携し、当社グループが一体となった取り組みで地域の活性化を進めました。

- 北陸新幹線金沢開業効果の最大化による北陸エリアの活性化
- 大阪駅をはじめとしたターミナル駅の開発
- 持続可能な鉄道・交通サービスの実現に向けた地域との対話の促進 等



推進責任者  
常務執行役員  
総合企画本部長  
杉岡 篤

## めざす未来

我が国の各地域を取り巻く今後の社会・経済の環境は、人口減少に伴う市場の縮小や労働力の減少等、厳しいことが想定されています。一方で、訪日のお客様の一層の増加が見込まれることや、北陸新幹線のさらなる延伸、うめきた(大阪)地下駅の開業等の大規模プロジェクトをはじめ、当社の事業エリアには成長の機会も多く存在しています。我々JR西日本グループは、鉄道を基軸に社会インフラを担う企業グループとして、地域の皆様と連携し、当社グループが一体となって、誰もが訪れたいまち、誰もが住みたいまちと沿線をつくる様々な取り組みを進めることを通じて、地域の社会、経済の発展に寄与し、「人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会」づくりに貢献していきます。

## Plan めざす未来に向けた私たちの取り組み ~2022~2030~さらに未来へ

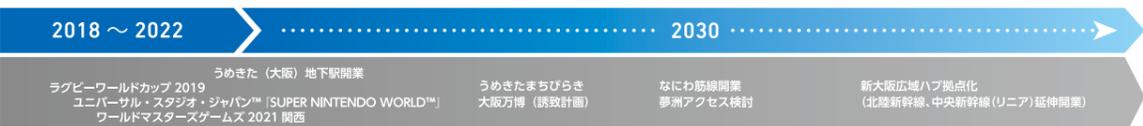
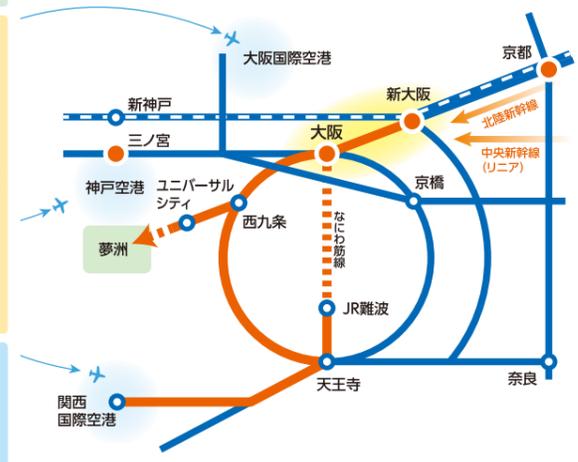
地域の皆様と一体となって、誰もが訪れたいまち、誰もが住みたいまちと沿線をつくります。



※路線図は2018年4月1日時点の当社の路線をもとに簡略化し、北陸新幹線金沢～敦賀間開業等を加味して記載しています。

## 日本第二の都市圏であり、「ニッポン」のゲートウェイにふさわしい、先進性を備えた、関西都市圏ブランドの確立に貢献します。

- 鉄道ネットワーク整備と沿線開発による国際都市としての魅力の向上**  
なにわ筋線・夢洲アクセス検討  
都市の軸となる鉄道ネットワーク整備と沿線開発を通じて、観光、ビジネスの両面で魅力ある国際都市づくりに貢献します。
- 西日本最大のターミナル大阪駅周辺の開発を通じた賑わいの創出**  
うめきた(大阪)地下駅を中心としたまちづくり  
関西空港アクセスおよび広域ネットワークの強化に大きく貢献するうめきた(大阪)地下駅を核に、周辺地域との一体的なまちづくりを通じてさらなる賑わいを創出します。
- 新大阪エリアの広域ハブ拠点化と国際ビジネス立地のポテンシャル発揮**  
新大阪の拠点性向上(交通結節機能、都市機能の集積)  
スーパー・メガリージョン<sup>®</sup>(三大都市圏の一体化)形成後を見据えて、新大阪エリアの広域ハブ拠点化および国際ビジネス立地としてのポテンシャルの発揮に向け、交通ネットワークの強化とまちづくり構想の具体化に取り組みます。  
※スーパー・メガリージョン(中央新幹線(リニア)の開業後、東京、名古屋、大阪が約1時間で結ばれ、三大都市圏が一体化した都市圏(スーパー・メガリージョン)の形成が期待されており、国土形成計画において、その効果を最大化する取り組みが検討されている。
- 魅力ある沿線ブランドの確立**  
拠点としての各線区ターミナル駅の開発  
関係者と連携し、線区の要であるターミナル駅の開発(賑わい創出)を進め、人口減少下やライフスタイルが多様化する中でも選ばれ、住みたいまちと沿線をつくる魅力ある沿線ブランドを確立します。



安全  
CS  
地域との共生  
人財・働きがい  
人権  
地球環境  
リスクマネジメント

## Do 「行ってみたい、また行きたい」広域誘客ゾーンの演出

歴史情緒や四季の彩りにあふれ、風光明媚な西日本各エリアならではの名所や体験等の観光素材開発、ブランディングやプロモーションにより、広域誘客ゾーンを演出します。

西日本エリアの中でも多様な観光資源を有している瀬戸内エリアにおいて、鉄道事業と創造事業が連携して「せとうちパレットプロジェクト」を展開しています。本プロジェクトでは、広域周遊ルートの構成と地域の産業や文化を生かしたコンテンツの整備により、瀬戸内を国内外から多くのお客様が繰り返し訪れる一大周遊エリアにすることをめざします。



### 拠点駅開発

周遊観光ルートの拠点、地域の魅力の発信の場として、主要駅の開発を行います。例えば尾道駅では、駅の建替えや市と共同での観光案内所の設置に加え、商業施設やサイクリスト向け宿泊施設を整備していきます。



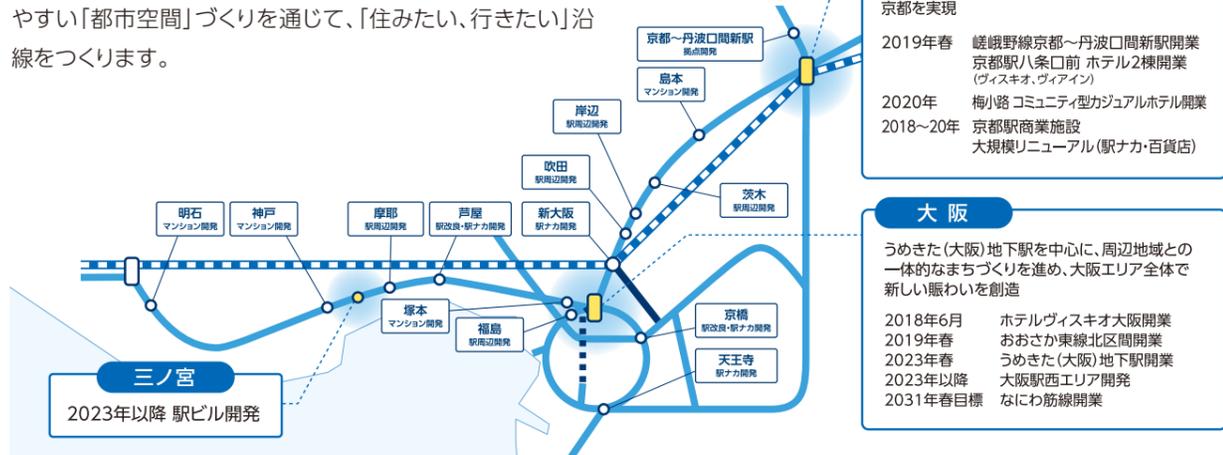
尾道駅 新駅舎イメージ

## Do 安全で高品質な鉄道サービスと生活サービスの提供を通じた、便利で快適な暮らしの実現

新線や新駅設置等鉄道ネットワークの整備や、地域のまちづくりとあわせて駅をより魅力的な空間とすること等を通じて、鉄道を利用されるお客様や沿線で生活される皆様のニーズに応じた質の高い生活サービスや商品を提供し、線区価値を向上させ、便利で快適な暮らしを実現します。

### 関西都市圏ブランドの確立に向けた「住みたい、行きたい」沿線づくり

輸送サービスのブラッシュアップ、駅および駅ビル開発による機能性が高い駅づくり、駅周辺開発による便利で暮らしやすい「都市空間」づくりを通じて、「住みたい、行きたい」沿線をつくりまします。



#### 京都

メインゲートである京都駅の機能充実やサブゲートとなる嵯峨野線京都～丹波口間新駅の設置等を通じて、新たな人の流れをつくり、観光しやすい京都を実現

- 2019年春 嵯峨野線京都～丹波口間新駅開業  
京都駅八条口前 ホテル2棟開業  
(ヴィスキオ、ヴィアイン)
- 2020年 梅小路 コミュニティ型カジュアルホテル開業
- 2018～20年 京都駅商業施設  
大規模リニューアル(駅ナカ・百貨店)

#### 大阪

うめきた(大阪)地下駅を中心に、周辺地域との一体的なまちづくりを進め、大阪エリア全体で新しい賑わいを創造

- 2018年6月 ホテルヴィスキオ大阪開業
- 2019年春 おおさか東線北区间開業
- 2023年春 うめきた(大阪)地下駅開業
- 2023年以降 大阪駅西エリア開発
- 2031年春目標 なにわ筋線開業

### 私の考動

JR東海道線支線の地下化およびうめきた(大阪)地下新駅の建設工事に携わっています。大阪市や区画整理事業者をはじめとした多くの事業関係者と、うめきたエリア全体のまちづくりに向けた協議を重ね、ともに良いまちをつくらうという仲間意識が生まれています。都市部における大規模な工事のため、地域の方々にご迷惑をおかけすることもしばしば発生しますが、発生した事柄のご説明だけでなく、工事全体の流れや将来のまちの姿についても丁寧に直接お話しすることで、まちづくりへの期待感をもっていただけるように努めています。「まちがない所にまちをつくる」ための核となる注目度が高いプロジェクトであり、完成後の姿に対する周囲からの期待も大きく、自分自身の大きなやりがいにつながっています。



大阪工事事務所  
うめきた工事所 係長 藤岡 慶祐

## Do 安全で持続可能な交通サービス

移動ニーズの多様化や少子高齢化、激甚化する自然災害など、公共交通を取り巻く環境は日々変化しています。このような中、2018年4月1日に三江線に代わる新しい交通ネットワークがスタートしました。運行開始に至るまでの間、地域の方々が主体となり、沿線地域の現状や課題を踏まえながらともに議論を重ねてきました。

地域が描くまちづくりの将来の絵姿には、どのような交通体系がふさわしいのか。地域の皆様と向き合い、安全で持続可能な交通サービスをともに検討していきます。



三次駅バスターミナル

### 私の考動

お客様や自治体、地域の皆様の交通や地域の将来に対する「思い」は人それぞれです。私たちは地域を歩くことを最も大切に、また、対話する際には、相手に伝わりやすい言葉を用いながら直接その「思い」を伺ってきました。それぞれの思いや温度感、机上のデータだけでは分かりません。私たちは繰り返し地域を歩くことで多くの方々と出会い、そして多くのことを学びました。

三江線が単なる鉄道のモード転換ではなく、地域の将来を見据えた交通サービスの構築に繋がったのは、地域の課題を踏まえ、行政だけでなく広く地域の方々との議論を重ねてきたその「思い」が礎になったと考えております。

私たちは新たな交通に移り変わってからも地域を歩き続け、交通にとどまらず地域の活性化に向けて引き続き対話を深めるとともに、着実に取り組みを進めていきます。



米子支社 山陰地域振興本部  
副本部長 和田 昇司

### 社会の期待

「鉄道からバスへ」という新たな課題に対し、私たちは代替交通確保にとどまらず、このエリア全体の交通体系の再編を目指しました。県を跨る多くの関係者が存在する中、中国運輸局としては、各種調整役という立場で関わってきました。4月1日の運行開始以降、多くの方が新しいバスを利用されており非常に嬉しく思います。

中山間地域を多く抱える中国地方は人口減少が著しく公共交通のあり方も転換期を迎えています。各自治体では、持続可能な公共交通体系の構築に向け尽力されていますが、まずは一人でも多くの方に中山間地域における公共交通の実情を理解していただく必要があります。

今後は是非JR西日本からもさまざまな場を通じて積極的な働きかけをしていただけることと、さらに観光客の積極的な誘致など、地域の振興に寄与されることを期待します。



中国運輸局 交通政策部  
部長 赤木 康秀 様

## Check Action

### 地域共生企業として、私たちの使命を果たします。

中期経営計画2017において、地域の皆様と連携し、当社グループが一体となって、北陸新幹線金沢開業効果の最大化や大阪駅をはじめとしたターミナル駅の開発等に取り組みだ結果、地域に新しい活力が生まれています。

将来の当社グループを取り巻く経営環境は大変厳しい状況にありますが、海外から日本にお越しになるお客様の益々の増加が見込まれるほか、北陸新幹線金沢～敦賀間開業やうめきた(大阪)地下駅開業等の大規模なプロ

ジェクトなど、私たちの取り組みを通じて、社会、経済の発展に貢献し得る機会も数多く存在しています。

地域の皆様とめざす未来を共有し、訪れたいまち、住みたいまちづくり、安全で持続可能な鉄道・交通サービスの実現に取り組み、鉄道を基軸とした社会インフラ企業グループとして、安全で高品質な鉄道サービスと生活サービスの提供を通じて、お客様の暮らしを支えていきます。